

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	保育者論				
担当者氏名	荘司 泰弘、白川 晴美				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	1年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

現在の社会の変化や多様なニーズの中で、保育士、保育教諭、幼稚園教諭などに求められる役割を知り、倫理観や基本的な知識を身に着ける。

適宜、グループディスカッションを行いながら、専門性や資質能力について理解し、保育の実践力を形成する。

将来自分が目指したいガイドラインを探求する。

《テキスト》

幼保連携型認定こども園教育・保育要領
https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=00010420&dataType=0&pageNo=1

《参考図書》

倉橋惣三 育ての心 上・下 フレーベル館

《授業の到達目標》

1. 保育士、保育教諭、幼稚園教諭の位置づけおよび役割について理解する。
2. 保育者の職務内容と求められる専門性について理解する。
3. 保育者としてキャリア形成・資質能力を向上することの重要性について知る。

《授業時間外学習》

幼保連携型認定こども園教育・保育要領や倉橋惣三の「育ての心」を読み、保育者の在り方について学んでください。

《成績評価の方法》

試験 60%
 提出物・平常点 40%

《備考（教員経験の有無）》

保育者とはなにかを様々な視点から学びます。保育者を目指す方は、ぜひ受けてください。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	15回の授業の計画と評価について 保育者に求められる姿勢 「育ての心」から
2	保育者に求められる専門性 ①	保育所型、幼稚園型、幼保連携型認定こども園の違いについて理解する。幼保連携型認定こども園教育・保育要領から保育者に求められる専門性について考察する。
3	保育者に求められる専門性 ②	保育者の一日と保育の援助 専門的倫理や専門性について考察をし、理解する。
4	こども達が置かれている社会的背景 ①	こども達を取り巻く現在の課題や社会的背景について理解を深める。
5	こども達が置かれている社会的背景 ②	こども達を取り巻く現在の課題や社会的背景と解決策についてグループで考察をおこなう。
6	こども達が置かれている社会的背景 ③	こども達を取り巻く現在の課題や社会的背景と解決策についてグループで考察をおこない、発表をおこなう。また、発表から理解や考えを深める。
7	こどもと遊び ①	こどもにとって遊びとはなにか、主体的に遊べる環境や自然、遊びの内容について考える。
8	こどもと遊び ②	グループで協同をして、こどもの遊びの部分保育を考える。
9	こどもと遊び ③	グループで部分保育を発表する。こどもの気持ちになって参加することでこどもの気持ちを理解したり、指導案を考えたりする。
10	こどもと遊び ④	グループで自由保育を発表する。こどもの気持ちになって参加することでこどもの気持ちを理解したり、指導案を考えたりする。
11	外国の保育史	ルソー・ペスタロッチー・モンテッソーリの思想や教育から学ぶ。
12	外国の保育史	フレーベル・オーベルラン・マクミラン姉妹の思想や教育から学ぶ。
13	日本の保育史	倉橋惣三・松野クララの思想や教育から学ぶ。
14	インクルーシブ保育・多文化共生保育	保育者として障がい格差をどのように保育に受け入れるのかを考える。多文化共生社会について理解を深める。
15	まとめ	15回の授業の総括を行う。保育者としてのキャリア形成の重要性について試験をする。